

令和2年度 第5回部長会議 会議記録（要旨）

開催日時：令和2年7月1日（水） 13時00分から14時25分まで

開催場所：A203・204 会議室

出席者：牧野市長、木下副市長、代田教育長、櫻井総務部長、塚平総合政策部長、細田リニア推進部長、米山リニア用地担当参事、松下市民協働環境部長、清水健康福祉部長、遠山産業経済部長、北沢建設部長、島崎建設部参事、土屋上下水道局長、宮内市立病院事務局長、串原市長公室長、田中危機管理室長、吉川議会事務局長、青木地域人育成担当参事、赤羽目消防長、塚平財政課副参事、原田秘書広報課長、田中企画課長

会議内容

1 理事者あいさつ

<市長>

昨日からの豪雨対応についてはそれぞれの部署でご対応いただいたことに御礼申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症緊急対策事業についてもこれまで第1弾から第3弾まで進めてきており、各部署での取組に改めて御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症への対応は長丁場でまだ先が見えない状況であり、他の災害とは異なるものである。現在、各種団体等との懇談会を進めているところであり、第4弾以降の対応を考えていかなければならないと考えている。市役所としては災害時に市民の皆さんのニーズを把握し、できる限り早期に対応することが基本であると捉えている。早期に対応するためには、今回の特別定額給付金のように市役所全体「オール市役所」で取り組む必要があると考えている。

新型コロナウイルス感染症への対応が続いており、職員の皆さんの疲労も相当たまってきていると思う。部局長の皆さんにはしっかりとフォローをしていただくとともに、人員についても考えていただくことが必要であり、臨機応変に対応しないと長丁場を乗り切れないと感じている。コロナに打ち勝ち、地域の将来を切り開いていくために、課題を共有しながらみんなで一緒に頑張ろうという気持ちで取り組んでいただくようお願いしたい。

<副市長>

特別定額給付金については、9割の皆さんに給付が完了したということで、土日間わず努力いただいたことに感謝申し上げます。

コロナ対策について実際に事務を行うのは市町村であり、職員の皆さんには大変な部分が多いと思うが、今しっかり取り組まないと地域経済が立ち行かない状況にあると認識している。新しい生活様式の中で、地域経済をもとに戻すために引き続き業務に取り組んでいただくようお願いしたい。

これまで新型コロナウイルス感染症緊急対策事業を進める中で、危機管理室を中心に、産業経済部、健康福祉部、市民協働環境部等、業務に偏りが生じてしまっている部分があると思う。これからの取組については組織体制も考慮しながら、一丸となって取り組んでいただくようお願いしたい。

<教育長>

豪雨への対応について改めて御礼申し上げます。学校の状況としては、がけ崩れがあった影響で上村小学校は休校の措置を取り、和田小学校は水があふれて土嚢を積むなどの対応をしている。今後も豪雨や台風が予想されるので、その備えをしていく必要があると考えている。

学校が通常登校となって一ヶ月が経過した。今は目の前の生活を考えることでいっぱいになっているが、これからは先を見据えた新しい社会を創造することが大切だと考えている。一人1台タブレットが配られ、家で勉強ができるようになると、学びの個別化など社会の状況が変わることが予想される。今から学校現場でも先を見据えて考えていただきたいと思っている。教育に限らず、次のステージをイメージする機会だと思うので、職場でもぜひ話し合っていたきたいと思う。

2 協議事項

(1) 議会による行政評価について（議会事務局）

◇趣 旨：いいだ未来デザイン2028に対する議会による進行管理のため、3つの委員会の構成員による予算決算委員会分科会が、各基本目標を分担して評価・検証を行う。

◇論点・課題

- ・2019（令和元）年度の評価を行うとともに、今年度の現状を踏まえて、前期4年間を俯瞰的に見て中期につながる評価を行う。
- ・基本目標及び戦略計画を評価対象とした政策的評価の1層目、決算審査を政策へつなげる事務事業評価の2層目、といった2層式による議会行政評価に取り組む。

◇主な意見等

（市民協働環境部長）昨年度は限られた時間の中で、行政側の意図を十分に伝えられない場面があったので、今年度は配慮していただくようお願いしたい。

（議会事務局長）昨年度の経過は承知している。議会事務局でもしっかり情報交換をして進めるように配慮する。

◇協議結果

部長会了承

（2）令和元年度戦略計画の評価について（総合政策部）

◇趣旨：令和元年度の戦略計画について、基本目標・小戦略・当事者目標の評価シートを作成、整理をしていただき、それをもとに行政評価を進めていく。

◇論点・課題

- ・主に基本目標・小戦略評価シートの「取組の内容」と「これまでの成果」部分を中心に説明、議論していただくことになるので、実績値など事前の準備をお願いしたい。
- ・今後の流れとしては、各課で最終確認を行い、修正があれば7月3日までに企画課へご連絡いただきたい。

◇主な意見等

（産業経済部長）今後、有識者との意見交換会が予定されているが、外部の有識者だけではなく地元の各種団体等の意見を聞くことも重要であると思う。

（総合政策部長）地元の各種団体をはじめ地域の方の声を聞くことは最優先に取り組むべきことであると思う。それと同時に俯瞰的・客観的な視点も必要であり、幅広く意見を聞く機会を持つことが大切であると考えている。

◇協議結果

部長会了承

（3）緊急対策事業第1弾から第3弾までのまとめと今後の取組について（総合政策部）

◇趣旨：これまでの新型コロナウイルス感染症緊急対策事業のまとめを共有するとともに今後の取組について協議する。

◇論点・課題

- ・これまでの振り返りをして、支援が不足しているところに引き続き支援をしていくため、市民のニーズを的確に把握する必要がある。
- ・第2波、第3波に備えて、学校教育においてオンラインでも先生と子どもたちがつながる取組を整備するなど、前倒しできるものはできるだけ早く進めることが重要である。

◇協議結果

本日の協議や情報交換の内容を部局内で共有し、今後の取組について早急に準備を進める。

3 報告事項

（1）公用車の事故状況及び安全運転講習について（総務部）

◇趣旨：4月～6月の公用車の事故状況について共有するとともに、事故ゼロチャレンジの取組、飲酒運転撲滅のための全庁的対策について報告する。

◇論点・課題

- ・交通安全講話には各部署から必ず代表者が参加し、参加者は講話内容を復命し、職場における交通安全

意識の向上に努めるようにする。

- ・課等の長が各職場の全職員に対し飲酒運転撲滅のための職場内講習を行うとともに、職場内での飲酒運転撲滅のための取組を協議し、対策案を安全運転管理者に報告する。各課等から出された対策案に基づき、全庁的な対策案をまとめる。

◇主な意見等

特になし

4 閉 会